

***** サクラマスの沿岸生活期関連の文献 *****

2014年

木曾克裕(2014): 二つの顔をもつ魚 サクラマス -川に残る山女魚か 海に降る鱒か. その謎にせまる! ペルソ
ーブック 043(監修 日本水産学会). 186pp. 成山堂書店.

2005年

真山 紘 (2005): サクラマス生態ノート パート2 さけ・ます資源管理センター技術情報(魚と卵), 171: 15-19.

2004年

Miyakoshi, Y., T. Koyama, T. Aoyama, S. Sakakibara, and S. Kitada (2004): Estimates of numbers of masu salmon caught by recreational fishermen in the coastal area off Iburi, Hokkaido, Japan. *Fisheries Science*, 70: 87-93.(英文)

2003年

春日井潔・成基百 (2003): 朝鮮半島と北海道の沿岸で漁獲されたサクラマスの形態比較. 道立水産孵化場研報, 57: 29-35.

北村隆也 (2003): サクラマスの標識放流結果から得られたもの. -採捕海域とサイズ-. 魚と水, 39: 17-25.

下田和孝・内藤一明・中島美由紀・佐々木義隆・三坂尚行・今田和史 (2003): サクラマスのスモルトサイズと関連した海洋生活期の生残および成長. 日本水産学会誌, 69(6): 926-932.

2001年

Miyakoshi, Y., M. Nagata, and S. Kitada (2001): Effect of smolt size on postrelease survival of hatchery-reared masu salmon *Oncorhynchus masou*. (サクラマスのスモルトサイズと放流効果との関係). *Fisheries Science*, 67: 134-137.(英文)

Miyakoshi, Y., M. Nagata, K. Sugiwaka, and S. Kitada (2001): Commercial harvest of hatchery-reared masu salmon *Oncorhynchus masou* estimated by a coast-wide sampling program in Hokkaido, northern Japan, and the two-stage sampling schemes of landings. (北海道沿岸におけるサクラマスの放流効果の評価と2段階抽出の市場調査戦略の検討). *Fisheries Science*, 67: 126-133.(英文)

Miyakoshi, Y., M. Nagata, K. Takeuchi, K. Sugiwaka, and S. Kitada (2001): Effectiveness of stocking masu salmon *Oncorhynchus masou* fry as a means of increasing commercial catches. (サクラマス稚魚期に放流した場合の沿岸漁業資源増大効果). *Fisheries Science*, 67: 1184-1186.(英文)

2000年

三坂尚行・真野修一 (2000): 北海道東部沿岸におけるサクラマス幼魚の胃内容物. 道立水産孵化場研報, (54): 15-22.

宮腰靖之 (2000): 放流サクラマスの市場調査と回帰率の推定. 育てる漁業, (321): 3-8.

Shimizu, S., Y. Fujimori, T. Miura, and K. Nashimoto (2000): Size selectivity curves of sode hooks for masu salmon derived from the stochastic model of hooking mechanism. (釣獲確率モデルから得られたサクラマスに対する「そで針」のサイズ選択性曲線). 北大水産彙報, 51(1): 13-23. (英文)

1999年

春日井 潔 (1999): 北海道日本海南部に回遊するサクラマス成魚の胃内容物. (短報). 道立水産孵化場研報,

(53): 73-75.

1998 年

Nagasawa, K. (1998): Fish and seabird predation on juvenile chum salmon (*Oncorhynchus keta*) in Japanese coastal waters, and an evaluation of the impact. (日本沿岸における魚類及び鳥類によるサケ幼稚魚の捕食とその影響評価). *NPAFC Bull.*, (1): 480-495.

Shikata, T. (1998): Carbohydrate and amino acid metabolism in the liver of masu salmon *Oncorhynchus masou* in the early period of seawater migration. (降海初期のサクラマス肝臓における糖質およびアミノ酸の代謝). *Fisheries Science*, 64(3):487-491. (英文)

1997 年

Kasugai, K., K. Naito, N. Misaka, S. Kudo, and T. Aoyama (1997): Individual growth of released masu salmon, *Oncorhynchus masou*, in sea water. (サクラマスの海洋生活期における成長). 道立水産孵化場研報, (51): 53-56. (英文)

1996 年

加藤憲司 (1996): 東京内湾および多摩川で採集されたサクラマス. 水産海洋研究, 60(3): 275-277.

真野修一 (1996): 襟裳岬周辺海域に出現するサクラマス幼魚の回遊生態. 道立水産孵化場研報, (50): 17-28.

宮腰靖之 (1996): サクラマス資源量評価への統計学的解析方法の導入. 魚と水, (33): 2-11.

1995 年

Asami, H., and H. Hayano (1995): Feeding ecology of juvenile masu salmon *Oncorhynchus masou* in the coasts of Hokkaido with special reference to stomach contents. (北海道沿岸域におけるサクラマス幼魚の摂餌生態, 特に胃内容物について). *Fisheries Science*, 61: 590-593. (英文)

Awakura, T., K. Nagasawa, and S. Urawa (1995): Occurrence of *Myxobolus arcticus* and *M. neurobius* (Myxozoa: Myxosporidia) in masu salmon *Oncorhynchus masou* from northern Japan. (北日本のサクラマスにおける粘液胞子虫 *Myxobolus arcticus* と *M. neurobius* の出現状況). さけ・ますふ化場研報, (49): 35-40. (英文)

隼野寛史 (1995): サクラマスの海洋生活初期における生態研究 1. えりも沿岸における回遊時期と体長組成から見た分布特性. 道立水産孵化場研報, (49): 9-16.

木曾克裕 (1995): 本州北部太平洋岸の河川を母川とするサクラマスの生活史の研究. 中央水研研報, (7): 1-188.

木曾克裕 (1995): 山女か、鱒か -本州北部太平洋岸の河川を母川とするサクラマスの生活史の研究-. 中央水研ニュース, 11: 8-11.

宮腰靖之・大久保進一・神力義仁・鈴木研一 (1995): 天然サクラマススモルトの標識放流結果について. 道立水産孵化場研報, (49): 63-65.

大森 始・宮本真人・杉若圭一・小島 博 (1995): 道北の増幌川に回帰した森支場産池中継代飼育サクラマス. 魚と水, (32): 11-18.

1994 年

浅見大樹・隼野寛史 (1994): 北海道沿岸域におけるサクラマス降海幼魚の摂餌生態. 魚と水, (31): 253-259.

原子 保 (1994): 10月に大畑町地先の小型定置網で漁獲されたサクラマスについて. 青森内水試事業報告書(平成4年度): 74-75.

木曾克裕 (1994): 牡鹿半島周辺海域におけるサクラマス成魚の食性. 水産増殖, 42(4): 521-528.

木曾克裕・竹内 勇 (1994): 牡鹿半島周辺海域におけるサクラマス幼魚の食性. 水産増殖, 42: 351-361.

小林美樹・宮腰靖之・中島美由紀・藤原 真・工藤 智・坂井勝信・永田光博・楠田 聡・岡田鳳二・小山達也・小出展久・竹内勝巳 (1994): 継代飼育作出 0+サクラマス・スマルトの海水馴致放流による沿岸への回帰. 魚と水, (13): 219-226.

宮本真人・平野和夫・大久保進一・浅見大樹 (1994): 信砂川および風連別川に放流したサクラマスの回遊と回帰. 魚と水, (13): 227-231.

内藤一明・北村隆也・畑山 誠 (1994): 檜山管内におけるサクラマス 1+スマルト放流魚の回帰. 魚と水, (13): 233-238.

1993 年

大久保進一・小林美樹 (1993): 北海道の神恵内沿岸で漁獲されたサクラマスの遺伝的組成について(短報). 道立水産孵化場研報, (47): 27-31.

Shimazu, T. and T. Awakura (1993): Occurrence of a freshwater digenean, *Dimerosaccus oncorhynchi* (Opecoelidae), in masu salmon (*Oncorhynchus masou masou*) caught at sea. (海洋生活期のサクラマスから見出された淡水産二生吸虫 *Dimerosaccus oncorhynchi* (Opecoelidae) について). 道立水産孵化場研報, (47): 1-5. (英文)

1992 年

Kiso, K., and Y. Matsumiya (1992): Growth of fluvial form masu salmon *Oncorhynchus masou* in southern Sanriku District, Honshu, Japan. 日本水産学会誌, 58(1): 9-13. (英文) #4265

若林 洋 (1992): 富山湾に來遊するサクラマス. 富山水試研報, (3): 15-24.

1991 年

粟倉輝彦・小林美樹 (1991): 神恵内沖で漁獲されたサクラマスの脊髄寄生胞子虫について. 魚と水, (28): 21-24.

(財)海洋生物環境研究所 (1991): サクラマス. 水産の技術と経営, ??: 63-84.

Kato, F. (1991): Life histories of masu and amago salmon (*Oncorhynchus masou* and *Oncorhynchus rhodurus*). (サクラマスとアマゴの生活史). In "Pacific salmon life histories (edited by C. Groot and L. Margolis)". UBC Press, pp. 447-520.

1990 年

西浜雄二 (1990): 珪藻 *Chaetoceros convoltus* によるサクラマスの斃死について. 北水試だより, (9): 16.

1989 年

Awakura, T. (1989): Parasitology of masu salmon, *Oncorhynchus masou*, in northern Japan. (北日本におけるサクラマスの寄生虫). *Physiol. Ecol. Japan, Spec. Vol. 1*: 605-614. (英文)

Okazaki, T. (1989): Population structure of masu salmon during their wintering migration along the coastal waters of northern Japan. (北日本沿岸域に冬季に回遊するサクラマスの集団構造). *Physiol. Ecol. Japan, Spec. Vol. 1*: 359-369. (英文)

Sasaki, S., T. Ota, and T. Takagi, T. (1989): Compositions of fatty acids in the lipids of masu salmon and pink salmon, and latter canned flesh. (サクラマス, カラフトマスおよびその缶詰の脂質の脂肪酸組成). 日本水産学会誌, 55(9): 1655-1660. (英文)

1988年

長谷川誠三・永澤 亨 (1988): サクラマス来遊量予測方法の検討. 昭和 62, 63 年度マリーンランチング計画プログレス・レポート サクラマス (8): 142-151, 北海道さけ・ますふ化場.

長谷川誠三・永澤 亨 (1988): 日本海中南西部のサクラマス漁況予測の検討. 昭和 62, 63 年度マリーンランチング計画プログレス・レポート サクラマス (8): 155-160, 北海道さけ・ますふ化場.

笠原恵介・末永浩章・藤原 健・渡辺誠樹 (1988): 海水飼育によるサクラマス親魚の育成 -1987 年の飼育結果, 及びスマルト幼魚の育成と標識放流試験. 昭和 62, 63 年度マリーンランチング計画プログレス・レポート サクラマス(8): 295-317, 北海道さけ・ますふ化場.

煙山 彰・支倉 理・山内清三 (1988): 岩手県沿岸におけるサクラマスの漁業実態と生物学的特性(昭和 57-昭和 63 年). 昭和 62, 63 年度マリーンランチング計画プログレス・レポート サクラマス(8): 263-276, 北海道さけ・ますふ化場.

煙山 彰・支倉 理・山内清三 (1988): 岩手県沿岸におけるサクラマスの漁業実態と生物学的特性(昭和 63 年). 昭和 62, 63 年度マリーンランチング計画プログレス・レポート サクラマス(8): 277-294, 北海道さけ・ますふ化場.

木曾克裕 (1988): 三陸地方の河川および沿岸域におけるサクラマスの生物学的特性と生活史に関する情報. 昭和 62, 63 年度マリーンランチング計画プログレス・レポート サクラマス(8): 242-253, 北海道さけ・ますふ化場.

木曾克裕・小坂 淳 (1988): 牡鹿半島周辺海域における海洋生活初期サクラマスの卵巣発達. 日本水産学会誌, 54: 1681-1686.

小谷祐一 (1988): サクラマス幼魚の餌料となる端脚類 *Themisto japonica* の春季の宮城県沿岸域における分布. 昭和 62, 63 年度マリーンランチング計画プログレス・レポート サクラマス(8): 235-241, 北海道さけ・ますふ化場.

西村 明 (1988): 耳石によるサクラマス資源解析に関する研究. 魚と水, (25): 45-49.

野村哲一・真山 紘・大熊一正 (1988): サクラマスの降海期, 海洋生活期, 河川遡上期の脂質含量の変化. 昭和 62, 63 年度マリーンランチング計画プログレス・レポート サクラマス(8): 151-154, 北海道さけ・ますふ化場.

岡崎登志夫 (1988): 冬季に北日本沿岸に出現するサクラマスの集団構造. 昭和 62, 63 年度マリーンランチング計画プログレス・レポート サクラマス(8): 254-262, 北海道さけ・ますふ化場.

斉藤譲二 (1988): 北海道南部沿岸域で漁獲されるサクラマス標識魚について. 魚と水, (25): 19-20.

佐々木文雄 (1988): 積丹海域に接岸来遊するサクラマス *Oncorhynchus masou* (Brevoort) 未成魚について. 昭和 62, 63 年度マリーンランチング計画プログレス・レポート サクラマス(8): 191-234, 北海道さけ・ますふ化場.

佐々木文雄・宇藤 均・小林 喬 (1988): モデル海域におけるサクラマス資源の効率的利用と管理 -北部海域-. 昭和 62, 63 年度マリーンランチング計画プログレス・レポート サクラマス(8): 161-190, 北海道さけ・ますふ化場.

田中祐志 (1988): 北海道北部海域におけるスルメイカの生態 第1報 冬季に沿岸域でサクラマスに捕食される幼体スルメイカについて. 北水試研報, 30: 19-23.

1987 年

- 煙山 彰・支倉 理・大村礼司 (1987): 岩手県沿岸におけるサクラマスの漁業実態と生物学的特性. 昭和 61 年度マリーナランディング計画プログレス・レポート サクラマス(7): 148-162, 北海道さけ・ますふ化場.
- 木曾克裕 (1987): 宮城県沿岸域におけるサクラマス幼魚の降海時期と沿岸生活の期間に関する知見. 昭和 61 年度マリーナランディング計画プログレス・レポート サクラマス(7): 138-147, 北海道さけ・ますふ化場.
- 木曾克裕・熊谷五典・帰山雅秀 (1987): 志津川湾で行った標識放流の再捕結果からみた春季の本州東岸におけるサクラマスの移動. 東北区水研研報, (49): 89-101.
- 小谷祐一・木曾克裕・竹内 勇 (1987): 宮城県沿岸におけるサクラマスの漁獲に関する情報とサケ属魚類の水揚げ量の年変動および季節変化. 東北水研研報, (49): 61-71.
- 真山 紘・大熊一正・野村哲一 (1987): サクラマスのスモルト化幼魚の標識放流試験 -1986 年における回帰-. 昭和 61 年度マリーナランディング計画プログレス・レポート サクラマス(7): 19-30, 北海道さけ・ますふ化場.
- 佐々木文雄・宇藤 均・小林 喬 (1987): 積丹海域に來遊するサクラマス *Oncorhynchus masou*: Brevoort 未成魚について. 昭和 61 年度マリーナランディング計画プログレス・レポート サクラマス(7): 96-137, 北海道さけ・ますふ化場.
- 鈴木惇悦・柿元 皓 (1987): 沿岸域におけるサクラマスの移動 (バイオテレメトリーによる測定の一例). 新潟水試研報, (12): 1-11.
- 黒川忠英・小島 博・中島幹二 (1987): 池中継代飼育サクラマスの回遊と成長. 道立水産孵化場研報, (42): 45-52.
- 戸田省三 (1987): 昭和 57-59 年度サクラマス幼魚の海水飼育および標識放流. 山形水試資料, (140): pp.10.
- 安村 明・大竹 敦・伊勢谷修弘 (1987): 天然礁におけるサクラマス曳釣り漁場形成. 秋田水産振興センター事業報告書(昭和 60 年度): 185-193.

1986 年

- 木曾克裕 (1986): 宮城県沿岸におけるサクラマスの生物学的情報. 昭和 60 年度マリーナランディング計画プログレス・レポート サクラマス(6): 176-187, 北海道さけ・ますふ化場.
- 小谷祐一・木曾克裕・竹内 勇 (1986): 宮城県沿岸におけるサクラマス漁獲量の変動. 昭和 60 年度マリーナランディング計画プログレス・レポート サクラマス(6): 170-175, 北海道さけ・ますふ化場.
- 真山 紘・大熊一正・野村哲一 (1986): サクラマスのスモルト化幼魚の標識放流試験 -1985 年における回帰-. 昭和 60 年度マリーナランディング計画プログレス・レポート サクラマス(6): 82-91, 北海道さけ・ますふ化場.
- 宮沢公明・支倉 理・大村礼司 (1986): 岩手県沿岸におけるサクラマスの漁業実態と生物学的特性. 昭和 60 年度マリーナランディング計画プログレス・レポート サクラマス(6): 134-169, 北海道さけ・ますふ化場.
- 坂本博幸・河村 博・田中寿雄・永田光博 (1986): 池産サクラマス標識魚の回帰. 道立水産孵化場研報, (41): 71-78.
- 吉田文一・藤原 健・梶塚善弘 (1986): 放流池産ヤマメの宮城県沿岸域における分散, 移動について. 宮城内水試事業報告(昭和 59 年度): 36-42.

1985 年

- 本間義治 (1985): 右下顎の欠損したサクラマス. 新潟県生物教育研究会誌, 20: 37-39.
- 粟倉輝彦・坂口清次・原 武史 (1985): サクラマスの寄生虫に関する研究-VIII 広節裂頭条虫. 道立水産孵化場研報, (40): 57-67.
- 木曾克裕・竹内 勇 (1985): 1983 年の宮城県沿岸におけるサクラマス幼魚の食物組成(速報). 昭和 59 年度マリーナランチング計画プログレス・レポート サクラマス(5): 101-108. 北海道さけ・ますふ化場.
- 待鳥清治・加藤史彦 (1985): サクラマス(*Oncorhynchus masou*)の産卵群と海洋生活. 北太平洋漁業国際委員会研報, (43): 1-118.
- 真山 紘・野村哲一・大熊一正 (1985): サクラマスのスモルト化幼魚の標識放流試験—1984 年における回帰—. 昭和 59 年度マリーナランチング計画プログレス・レポート サクラマス(5): 109-119. 北海道さけ・ますふ化場.
- 真山 紘・野村哲一・大熊一正・松村幸三郎 (1985): 尻別川におけるサクラマスのスモルト放流試験 —1981 年春放流標識魚の回帰—. さけ・ますふ化場研報, (39): 1-16.
- 野村哲一・真山 紘・大熊一正 (1985): 種々の生活期におけるサクラマスの脂質含量の変化. 昭和 59 年度マリーナランチング計画プログレス・レポート サクラマス(5): 10-22. 北海道さけ・ますふ化場.
- 岡崎登志夫 (1985): 春季に能登半島沿岸に出現するサクラマスについて. 昭和 59 年度マリーナランチング計画プログレス・レポート サクラマス(5): 63-66. 北海道さけ・ますふ化場.

1984 年

- 支倉 理 (1984): 岩手県沿岸におけるサクラマスの漁業実態と生物学特性. 昭和 58 年度マリーナランチング計画プログレス・レポート サクラマス(4): 85-92. 北海道さけ・ますふ化場.
- 木曾克裕 (1984): 宮城県沿岸におけるサクラマス幼魚に関する知見. 昭和 58 年度マリーナランチング計画プログレス・レポート サクラマス(4): 93-104. 北海道さけ・ますふ化場.
- 小谷祐一・木曾克裕・竹内 勇・小達和子 (1984): 宮城県沿岸におけるサクラマスの漁獲. 昭和 58 年度マリーナランチング計画プログレス・レポート サクラマス(4): 105-108. 北海道さけ・ますふ化場.
- 真山 紘・野村哲一・大熊一正 (1984): サクラマスのスモルト化幼魚の標識放流試験—1983 年における回帰—. 昭和 58 年度マリーナランチング計画プログレス・レポート サクラマス(4): 109-120. 北海道さけ・ますふ化場.
- 野村哲一 (1984): サクラマスの生理学的研究-I 筋肉内粗脂肪量について. さけ・ますふ化場研報, (38): 33-41.
- 岡崎登志夫 (1984): 佐渡島沿岸におけるサクラマス幼魚の遺伝的特性及び同時に採集された降海ニジマスについて. 昭和 58 年度マリーナランチング計画プログレス・レポート サクラマス(4): 57-61. 北海道さけ・ますふ化場.
- 坂本博幸・河村 博・田中寿雄 (1984): 池産サクラマス標識魚の回帰(予報). 道立水産孵化場研報., (39): 105-111.
- 佐々木文雄・大宅伊佐人・辻 敏 (1984): 日本海北部海域における生態特性. 昭和 58 年度マリーナランチング計画プログレス・レポート サクラマス(4): 62-76. 北海道さけ・ますふ化場.
- 吉田文一・梶塚善弘 (1984): さくらます増殖事業. 宮城内水試事業報告(昭和 59 年度): 43-45.

1983 年

粟倉輝彦・野村哲一 (1983): サクラマスの子生虫に関する研究-VI 消化管に寄生するヘミウルス類について. 道立水産孵化場研報., (38): 39-46.

加藤史彦 (1983): 新潟県および富山県沿岸におけるサクラマス幼魚の生態. 昭和 57 年度マリーナランディング計画プログレス・レポート サクラマス(3): 106-115, 北海道さけ・ますふ化場.

真山 紘・大熊一正・野村哲一 (1983): 1981 年春に尻別川に放流された銀毛化サクラマス標識幼魚の回帰. 昭和 57 年度マリーナランディング計画プログレス・レポート サクラマス(3): 139-146, 北海道さけ・ますふ化場.

佐々木文雄・大宅伊佐人・苫米地洋文 (1983): 沿岸滞泳期の摂餌特性. 昭和 57 年度マリーナランディング計画プログレス・レポート サクラマス(3): 116-130, 北海道さけ・ますふ化場.

1982 年

粟倉輝彦・小島 博・杉若圭一・小川俊文 (1982): サクラマスの寄生虫に関する研究-III 脊髄に寄生する粘液胞子虫 *Myxobolus* について. 道立水産孵化場研報., (37): 37-47.

加藤史彦 (1982): 新潟沿岸におけるサクラマス幼魚の生態. 昭和 56 年度マリーナランディング計画プログレス・レポート サクラマス(2): 48-52, 北海道さけ・ますふ化場.

角 祐二 (1982): 富山県沿岸におけるサクラマス幼魚の生態. 昭和 56 年度マリーナランディング計画プログレス・レポート サクラマス(2): 53-59, 北海道さけ・ますふ化場.

1981 年

粟倉輝彦・小島 博・杉若圭一 (1981): サクラマスの寄生虫に関する研究-II 腎臓に寄生する胞子虫について. 道立水産孵化場研報., (36): 65-73.

加藤史彦 (1981): 沿岸滞泳期の移動. 昭和 55 年度マリーナランディング計画プログレスレポート サクラマス (1) : 50-52, 北海道さけ・ますふ化場.

斎藤昭平 (1981): マス釣漁業の漁具, 漁法の導入について. 水産技術と経営, 1981 年 8 月号, 59-61.

佐々木文雄 (1981): 積丹半島に來遊するサクラマス (*Oncorhynchus masou* Brevoort) 未成魚について. 第 1 報 標識放流試験からみた回遊. 北水試月報, 38(3): 87-101.

佐々木文雄 (1981): 積丹海域に來遊するサクラマス (*Oncorhynchus masou*: Brevoort) 未成魚について. 北水試月報, 38: 102-119.

杉若圭一・田中寿雄・笠原 昇・新谷康二 (1981): 標識放流からみた 1+池産サクラマススモルトの回遊. 道立水産孵化場研報., (36): 11-31.

1980 年

久保達郎 (1980): 北海道のサクラマス生活史に関する研究. さけ・ますふ化場研報., (34): 1-95.

1979 年

久保達郎 (1979): 海洋生活期のサクラマス. 水産海洋研究会報, (34): 79-80.

久保達郎 (1979): サクラマス幼魚 (スモルト) の標識放流試験の結果の概要について. さけとます, 20(35): 52-54.

1976 年

太田 亨 (1976): サクラマス¹の脂質-IV. 海水生活初期におけるサクラマス幼魚筋肉脂質の脂質組成と脂肪酸組成の変動. 北大水産彙報, 27(2): 30-36.

1969 年

木村清朗・塚原 博 (1969): 有明海で獲られたギンケヤマベについて. 魚類学雑誌, 16: 131-134.

1967 年

佐野誠三・阿部進一 (1967): サクラマス(*Oncorhynchus masou*)の生態研究. 釧路沿岸回遊幼魚について. さけ・ますふ化場研報, (21): 1-10.

1963 年

田中昌一 (1963): さくらますに関する生物学的知見. 北太平洋漁業国際委員会研報, (16): 67-111.

1959 年

山本喜一郎・甲斐久行・石田カ一 (1959): マス(*Oncorhynchus masou*)の卵形成について(予報). 北水研研報, 20: 109-117.

1953 年

久保達郎 (1953): 日本産サケマス類の回遊時における血液について 第1報 血液の氷点降下度. 北大水産彙報, 4(2): 138-149.

1952 年

今田光夫・大宅伊佐人・丹羽和美 (1952): サクラマス的一本釣. 北水試月報, 9(5): 10-16.

1950 年

佐野誠三 (1950): さくらますの生活. 魚と卵, 2 (1950年2月号): 15-22.

1942 年

吉田 裕 (1942): 北鮮の海に産する鱒. 水産研究誌, 37(9): 152-156.

1938 年

吉田 裕 (1938): 朝鮮に於ける鮭鱒の分布に就て. 鮭鱒彙報, (37): 4-7.

1937 年

川上四郎 (1937): 所謂銀毛ヤマメの食餌に就て. 養殖会誌, 7(1): 6-9.

1935 年

海老名謙一 (1935): 鱒・館山湾で漁獲さる. 養殖会誌, 5(9,10): 166-167.

1934 年

松原喜代松 (1934): 熊本県沖合にて漁獲されし鱒に就て. 養殖会誌, 4(6): 114-117.

1933 年

大野磯吉 (1933): 北海道産サクラマスノ生活史. 鮭鱒彙報, 5(2): 13-25.